

第4節 高校1年生

「生命と環境」 ～21世紀の主役である私たち～

三小田 博 昭・杉 本 雅 子
渡 辺 武 志・西 川 陽 子
岡 村 明・中 野 和 之

【抄録】 今年度の総合人間科は、人間関係作りと職業体験を2大テーマに掲げ実施した。高校1年生は、附属中学出身の約80名と附属中学校以外からの生徒約40の合計120で例年スタートする。しかしながら、期待に満ちて始まった高校生活もクラスや学年にうまくなじめなくなってしまう生徒もここ数年目立ってきた。このことを踏まえ、従来からの総合人間科の学習目標であるキャリア形成プログラムに人間関係づくりを組み入れて年間の学習計画を作成した。

【キーワード】 人間関係 職業体験 融合プログラム キャリア形成

1. テーマと目標

(1) テーマ 生命と環境

～21世紀の主役である私たち～

(2) 学年の目標

- ・21世紀の生命・環境問題に対して、問題意識を持ち、主体的に解決していこうとする意欲・態度を身につける。
- ・グループ活動に人間関係づくりのワークショップを取り入れ、内進生と外進生がお互いの考えを理解し、認め合い、融合していこうとする気持ちを高める。
- ・職業体験を通して、働くことの意味を考え、健全な勤労観・職業観を養い、自分の生き方についてより具体的にしていこうとする気持ちを高める。

2. 学習方法

- ・オリエンテーション
- ・人間関係づくりワークショップ
- ・フィールドワーク
- ・ポスターセッション
- ・研究集録作成
- ・職業体験学習

3. 実践内容 ※融合を意識したプログラム

- 第1回 5月13日 ※人間関係づくり① 融合ワーク「駅伝」
- 第2回 6月4日 ※総合学習オリエンテーション① 中学時代の総合学習の発表
- 第3回 6月11日 総合学習オリエンテーション② 個人研究テーマづくりの視点を考えさせる。
- 第4回 7月9日 ※テーマ別グループ分け 融合ワー

ク「REAL KJ」夏休み個人研究①
研究究計画書作成

- 第5回 9月3日 個人研究② 研究究計画書発表会
- 第6回 10月15日 個人研究③ フィールドワークの事前研究
- 第7回 10月29日 ※人間関係づくり② 融合ワーク「こだわりマップ」
- 第8回 11月12日 個人研究④ フィールドワーク実施
- 第9回 11月19日 個人研究⑤ フィールドワークの報告会
- 第10回 11月26日 ※ポスターセッション準備① ポスターセッションとは？ グループ作り
- ※人間関係づくり③ 融合ワーク「友達の長所を見つけよう」
- 第11回 12月10日 ※ポスターセッション準備② ポスター下書き
- 第12回 1月14日 ※ポスターセッション準備③ ポスター清書・掲載資料の準備
- 第13回 1月21日 ※ポスターセッション準備④ ポスター清書・発表原稿作成
- 第14回 2月4日 ※プレポスターセッション
- 第15回 2月12日 研究協議会 ポスターセッション実施
- 第16回 2月18日 研究集録原稿下書き
- 第17回 3月4日 研究集録清書、完成
- 第18回 3月11日 職業体験学習

3. 融合プログラムを終えて

入学式を終え、新しいクラスになってすぐの4月（Pre）と学年の終わりに近づいた2月（Post）に、高校1年生になっての意識調査を5件法で、以下の質問内容で全生徒を対象に行った結果である。アンケート結果

は内進生男子・内進生女子・外進生男子・外進生女子の
4 カテゴリーに分類した。

5, あてはまる 4, まああてはまる 3, どちらともいえない 2, あまりあてはまらない 1, 全くあてはまらない

①内進生 (男子)

	4月に行ったアンケート項目 (回答者37名)	2月に行ったアンケート項目 (回答者37名)	PRE	POST
			平均値	平均値
質問1	心機一転あらたな気持ちで高校生活をスタートしようと思っている。	心機一転あらたな気持ちで高校生活をスタートできた。	4.35	3.73
質問2	新しい友達をたくさんつくり友達の輪を広げようと思っている。	新しい友達をたくさんつくり友達の輪を広げることができた。	4.05	4.11
質問3	新しく仲の良い友達がクラスの中で、すでにできた。	新しく仲の良い友達がクラスの中で、すぐにできた。	3.59	3.68
質問4	新しく仲の良い友達が高校1年生の中で、すでにできた。	新しく仲の良い友達が高校1年生の中で、すぐにできた。	3.35	3.7
質問5	新しく仲の良い友達が高校1年生以外で、すでにできた。	新しく仲の良い友達が高校1年生以外で、すぐにできた。	2.43	2.68
質問6	クラスの中に溶け込めることに不安はない。	クラスの中に不安なく溶け込めることができた。	3.81	3.73
質問7	学校の雰囲気溶け込めることに不安はない。	学校の雰囲気に不安なく溶け込めることができた。	3.97	3.86
質問8	部活動やサークル活動に参加してがんばりたい。	部活動やサークル活動に参加してがんばっている。	4.19	3.7
質問9	生徒会活動(執行部・委員会など)に参加してがんばりたい。	生徒会活動(執行部・委員会など)に参加してがんばっている。	2.92	2.7
質問10	学校以外でやっている自分の活動をがんばりたい。	学校以外でやっている自分の活動をがんばっている。	3.78	3.54
質問11	クラスで行った自己紹介は新生活をスタートする上で役に立った。	クラスで行った自己紹介は新生活をスタートする上で役に立った。	3.46	3.4
質問12	クラスでの席順が番号順であることは、友達作りで役に立った。	クラスでの席順が番号順であることは、友達作りで役に立った。	3.00	3.14
質問13	新入生歓迎会は学校のことを良く知る上で役にたった。	新入生歓迎会は学校のことを良く知る上で役にたった。	3.41	3.41
質問14	生徒会機関誌「耕」は学校のことを良く知る上で役にたった。	生徒会機関誌「耕」は学校のことを良く知る上で役にたった。	3.30	3.49
質問15	心機一転あらたな気持ちで高校での学習をスタートしようと思っている。	心機一転あらたな気持ちで高校での学習をスタートすることができた。	4.38	3.59
質問16	授業の内容や難易度に不安がない。	授業の内容や難易度に現在不安がない。	2.78	2.84
質問17	クラス討論やグループ討論は得意で積極的に参加できる。	クラス討論やグループ討論は得意で積極的に参加できている。	3.08	3.22
質問18	授業中に自分の意見を積極的に発言することができる。	授業中に自分の意見を積極的に発言している。	2.62	2.49
質問19	総合学習などの発表の時間に自分の意見やまとめた内容を他の生徒にうまく伝えることができる。	総合学習などの発表の時間に自分の意見やまとめた内容を他の生徒にうまく伝えることができる。	2.97	2.95

②内進生（女子）

	4月に行ったアンケート項目（回答者38名）	2月に行ったアンケート項目（回答者38名）	PRE	POST
			平均値	平均値
質問1	心機一転あらたな気持ちで高校生活をスタートしようと思っている。	心機一転あらたな気持ちで高校生活をスタートできた。	4.45	3.58
質問2	新しい友達をたくさんつくり友達の輪を広げようと思っている。	新しい友達をたくさんつくり友達の輪を広げることができた。	3.97	4.11
質問3	新しく仲の良い友達がクラスの中で、すでにできた。	新しく仲の良い友達がクラスの中で、すでにできた。	3.89	4.13
質問4	新しく仲の良い友達が高校1年生の中で、すでにできた。	新しく仲の良い友達が高校1年生の中で、すでにできた。	3.66	4
質問5	新しく仲の良い友達が高校1年生以外で、すでにできた。	新しく仲の良い友達が高校1年生以外で、すでにできた。	1.84	2.21
質問6	クラスの中に溶け込めることに不安はない。	クラスの中に不安なく溶け込めることができた。	3.82	3.76
質問7	学校の雰囲気溶け込めることに不安はない。	学校の雰囲気に不安なく溶け込めることができた。	4.31	4.08
質問8	部活動やサークル活動に参加してがんばりたい。	部活動やサークル活動に参加してがんばっている。	3.97	3.42
質問9	生徒会活動（執行部・委員会など）に参加してがんばりたい。	生徒会活動（執行部・委員会など）に参加してがんばっている。	3.16	2.82
質問10	学校以外でやっている自分の活動をがんばりたい。	学校以外でやっている自分の活動をがんばっている。	4.50	4.18
質問11	クラスで行った自己紹介は新生活をスタートする上で役に立った。	クラスで行った自己紹介は新生活をスタートする上で役に立った。	3.42	3.18
質問12	クラスでの席順が番号順であることは、友達作りで役に立った。	クラスでの席順が番号順であることは、友達作りで役に立った。	3.13	3.26
質問13	新入生歓迎会は学校のことを良く知る上で役にたった。	新入生歓迎会は学校のことを良く知る上で役にたった。	3.58	3.47
質問14	生徒会機関誌「耕」は学校のことを良く知る上で役にたった。	生徒会機関誌「耕」は学校のことを良く知る上で役にたった。	3.74	3.63
質問15	心機一転あらたな気持ちで高校での学習をスタートしようと思っている。	心機一転あらたな気持ちで高校での学習をスタートすることができた。	4.63	3.71
質問16	授業の内容や難易度に不安がない。	授業の内容や難易度に現在不安がない。	2.05	2.21
質問17	クラス討論やグループ討論は得意で積極的に参加できる。	クラス討論やグループ討論は得意で積極的に参加できている。	2.92	3.08
質問18	授業中に自分の意見を積極的に発言することができる。	授業中に自分の意見を積極的に発言している。	2.31	2.11
質問19	総合学習などの発表の時間に自分の意見やまとめた内容を他の生徒にうまく伝えることができる。	総合学習などの発表の時間に自分の意見やまとめた内容を他の生徒にうまく伝えることができる。	2.84	3.31

③外進生 (男子)

	4月に行ったアンケート項目 (回答者12名)	2月に行ったアンケート項目 (回答者11名)	PRE	POST
			平均値	平均値
質問1	心機一転あらたな気持ちで高校生活をスタートしようと思っている。	心機一転あらたな気持ちで高校生活をスタートできた。	4.67	4.55
質問2	新しい友達をたくさんつくり友達の輪を広げようと思っている。	新しい友達をたくさんつくり友達の輪を広げることができた。	4.67	4.18
質問3	新しく仲の良い友達がクラスの中で、すでにできた。	新しく仲の良い友達がクラスの中で、すでにできた。	4.17	4.09
質問4	新しく仲の良い友達が高校1年生の中で、すでにできた。	新しく仲の良い友達が高校1年生の中で、すでにできた。	4.08	4.27
質問5	新しく仲の良い友達が高校1年生以外で、すでにできた。	新しく仲の良い友達が高校1年生以外で、すでにできた。	2.00	3.18
質問6	クラスの中に溶け込めることに不安はない。	クラスの中に不安なく溶け込めることができた。	3.12	3.36
質問7	学校の雰囲気に溶け込めることに不安はない。	学校の雰囲気に不安なく溶け込めることができた。	3.33	3.73
質問8	部活動やサークル活動に参加してがんばりたい。	部活動やサークル活動に参加してがんばっている。	4.58	4.27
質問9	生徒会活動 (執行部・委員会など) に参加してがんばりたい。	生徒会活動 (執行部・委員会など) に参加してがんばっている。	3.17	2.72
質問10	学校以外でやっている自分の活動をがんばりたい。	学校以外でやっている自分の活動をがんばっている。	4.42	4.09
質問11	クラスで行った自己紹介は新生活をスタートする上で役に立った。	クラスで行った自己紹介は新生活をスタートする上で役に立った。	3.92	3.36
質問12	クラスでの席順が番号順であることは、友達作りで役に立った。	クラスでの席順が番号順であることは、友達作りで役に立った。	3.25	2.91
質問13	新入生歓迎会は学校のことを良く知る上で役にたった。	新入生歓迎会は学校のことを良く知る上で役にたった。	4.42	3.45
質問14	生徒会機関誌「耕」は学校のことを良く知る上で役にたった。	生徒会機関誌「耕」は学校のことを良く知る上で役にたった。	4.33	3.36
質問15	心機一転あらたな気持ちで高校での学習をスタートしようと思っている。	心機一転あらたな気持ちで高校での学習をスタートすることができた。	4.50	3.55
質問16	授業の内容や難易度に不安がない。	授業の内容や難易度に現在不安がない。	2.42	2.72
質問17	クラス討論やグループ討論は得意で積極的に参加できる。	クラス討論やグループ討論は得意で積極的に参加できている。	3.00	3
質問18	授業中に自分の意見を積極的に発言することができる。	授業中に自分の意見を積極的に発言している。	2.83	2.18
質問19	総合学習などの発表の時間に自分の意見やまとめた内容を他の生徒にうまく伝えることができる。	総合学習などの発表の時間に自分の意見やまとめた内容を他の生徒にうまく伝えることができる。	3.00	3.27

④外進生（女子）

	4月に行ったアンケート項目（回答者37名）	2月に行ったアンケート項目（回答者29名）	PRE	POST
			平均値	平均値
質問1	心機一転あらたな気持ちで高校生活をスタートしようと思っている。	心機一転あらたな気持ちで高校生活をスタートできた。	4.55	4.03
質問2	新しい友達をたくさんつくり友達の輪を広げようと思っている。	新しい友達をたくさんつくり友達の輪を広げることができた。	4.71	4.11
質問3	新しく仲の良い友達がクラスの中で、すでにできた。	新しく仲の良い友達がクラスの中で、すでにできた。	4.42	4.11
質問4	新しく仲の良い友達が高校1年生の中で、すでにできた。	新しく仲の良い友達が高校1年生の中で、すでにできた。	4.32	4.14
質問5	新しく仲の良い友達が高校1年生以外で、すでにできた。	新しく仲の良い友達が高校1年生以外で、すでにできた。	2.13	2.66
質問6	クラスの中に溶け込めることに不安はない。	クラスの中に不安なく溶け込めることができた。	3.58	3.34
質問7	学校の雰囲気に溶け込めることに不安はない。	学校の雰囲気に不安なく溶け込めることができた。	3.65	3.43
質問8	部活動やサークル活動に参加してがんばりたい。	部活動やサークル活動に参加してがんばっている。	4.06	3.32
質問9	生徒会活動（執行部・委員会など）に参加してがんばりたい。	生徒会活動（執行部・委員会など）に参加してがんばっている。	3.61	2.21
質問10	学校以外でやっている自分の活動をがんばりたい。	学校以外でやっている自分の活動をがんばっている。	4.32	3.46
質問11	クラスで行った自己紹介は新生活をスタートする上で役に立った。	クラスで行った自己紹介は新生活をスタートする上で役に立った。	3.97	2.29
質問12	クラスでの席順が番号順であることは、友達作りで役に立った。	クラスでの席順が番号順であることは、友達作りで役に立った。	3.90	3.54
質問13	新入生歓迎会は学校のことを良く知る上で役にたった。	新入生歓迎会は学校のことを良く知る上で役にたった。	4.35	3.86
質問14	生徒会機関誌「耕」は学校のことを良く知る上で役にたった。	生徒会機関誌「耕」は学校のことを良く知る上で役にたった。	4.26	3.86
質問15	心機一転あらたな気持ちで高校での学習をスタートしようと思っている。	心機一転あらたな気持ちで高校での学習をスタートすることができた。	4.23	3.79
質問16	授業の内容や難易度に不安がない。	授業の内容や難易度に現在不安がない。	2.32	2.61
質問17	クラス討論やグループ討論は得意で積極的に参加できる。	クラス討論やグループ討論は得意で積極的に参加できている。	3.10	2.55
質問18	授業中に自分の意見を積極的に発言することができる。	授業中に自分の意見を積極的に発言している。	2.87	2.07
質問19	総合学習などの発表の時間に自分の意見やまとめた内容を他の生徒にうまく伝えることができる。	総合学習などの発表の時間に自分の意見やまとめた内容を他の生徒にうまく伝えることができる。	2.93	2.59

結果から、平均得点の中には得点が下がっている項目もみられるが、友達づくりに関してはおおむね4（まああてはまる）以上か、それに近い値をPre-Post両方が出している。このことは、入学当初、多くの生徒が抱えている「たくさんの友達をつくらう」という気持ちが、結果としてある程度叶ったということができる。

それに対し、学習面に関しては、高校での授業内容や

難易度に不安を持って入学し、1年が経過したあとにおいても、まだ学習面での不安は継続している様子が見える。

5月の林間学校での、融合ワーク「駅伝」から本格的に融合プログラムとして行ったポスターセッションに至るまで、ほぼ1年を通じて総合人間科の中で手探りの状態で行ったのであるが、上記の結果から一定の成果を納

めたとと言える。

また、入学前の3月に行われる合格者指定出校日（新高校1年生が全員出席することを義務づけられている）で、今年度初めての試みとして、附属中学校以外から附属高等学校に進学する生徒のみを集めたセッションを实

施した。これは、入学式以前に、クラスや学年に知り合いができることで、4月からの学校生活にソフトランディングできるのではないかと考えたからである。以下はそのアンケート結果である。

⑤外進生（男子）

	2月に行ったアンケート項目（回答者11名）	平均値
質問20	合格者指定出校日に学校全体の説明を聞くことは学校に慣れることに役立った。	3.4
質問21	合格者指定出校日に附属学校出身生徒以外の新生で集まって自己紹介をしたことは学校に慣れることに役立った。	3.3
質問22	合格者指定出校日に附属学校出身生徒以外の新生で集まって他己紹介をしたことは学校に慣れることに役立った。	3.9
質問23	合格者指定出校日に附属学校出身生徒と附属学校出身以外の生徒も一緒に集まって、一緒に活動したい。	3
質問24	合格者指定出校日に学校全体の説明を聞くことは友達をつくることに役立った。	3.1
質問25	合格者指定出校日に附属学校出身生徒以外の新生で集まって自己紹介をしたことは友達をつくることに役立った。	3.4
質問26	合格者指定出校日に附属学校出身生徒以外の新生で集まって他己紹介をしたことは友達をつくることに役立った。	3.4

⑥外進生（女子）

	2月に行ったアンケート項目（回答者29名）	平均値
質問20	合格者指定出校日に学校全体の説明を聞くことは学校に慣れることに役立った。	3.66
質問21	合格者指定出校日に附属学校出身生徒以外の新生で集まって自己紹介をしたことは学校に慣れることに役立った。	3.79
質問22	合格者指定出校日に附属学校出身生徒以外の新生で集まって他己紹介をしたことは学校に慣れることに役立った。	3.66
質問23	合格者指定出校日に附属学校出身生徒と附属学校出身以外の生徒も一緒に集まって、一緒に活動したい。	2.76
質問24	合格者指定出校日に学校全体の説明を聞くことは友達をつくることに役立った。	2.93
質問25	合格者指定出校日に附属学校出身生徒以外の新生で集まって自己紹介をしたことは友達をつくることに役立った。	3.69
質問26	合格者指定出校日に附属学校出身生徒以外の新生で集まって他己紹介をしたことは友達をつくることに役立った。	3.64

男子・女子ともにこのセッションに対して肯定的な意見が多いが、特に女子にとっては肯定的な意見が男子よりも多い。以下は質問項目に対しての、自由記述から主なものを抜粋した生徒の声である。

附属中学校出身以外の生徒に質問します。

質問) 高校から附属中学の生徒と交わって高校生活をしていますが、うまく溶け込めましたか。溶け込めたならばどんなことが役に立ったか具体的に記述してください。また、そうでなければどうすればいいと思いますか自由に記述してください。

- ・とけ込めた。附属中の人賢くて、大人で優しいからかなあ。
- ・附中からの人がやさしかったし、行事が楽しかった。出校日の自己紹介がよかった。
- ・溶け込めています。周りの生徒が親切だったから。
- ・うまく溶け込めた。役立ったことはとくにない。
- ・部活動で話せるようになった。
- ・附属のしきたり(?)や習慣(?)など教えてもらった。「いつもはどうしてるの?」など
- ・なんとかなっている。林間学校で気の合う友達を見つけた

- ・ 附属中のひとたちが積極的に話しかけてくれた。
- ・ はじめは溶け込めなかった。
- ・ 自己紹介、他己紹介はとても役になった。また、林間学校がよい

※

- ・ 溶け込めていない。自分と内部生との性格とかが、基本的に合わないと思う。自分が変化して内部生にあわせなくてはいけないのだと思うけど、実際無理なことだし、間違ったことだと思うから。
- ・ 微妙だと思います。やっぱりほとんどの人が、内部の人は内部どうして仲良くなるし、外部は外部でなかよくなっていると思います。だから完全に溶け込める人は少ないと思います。やっぱり自分からその中に入っていくかといかないかと思えます。
- ・ 今となっては言える事らしいけど、多くの附属中出身生徒は、最初は公立中学出身の生徒とあまり仲良くなりたくなかったと聞いた。実際に友達関係とか見ていると、附属中の人は附属中どうして固まっていることが多い。
- ・ まだ溶け込め切れていない気がする。部活では大丈夫。

附属中学校出身の生徒に質問します。

質問) 高校から附属中学意外の生徒と交わって高校生活をしていますが、うまく溶け込めましたか。溶け込めたならばどんなことが役に立ったか具体的に記述してください。また、そうでなければどうすればいいと思いますか自由に記述してください。

- ・ どの中学か関係なく、高校から新しい気持ちで友達と接することができた。
- ・ 趣味などについて話がある人が増えて休み時間が有効になった。他校の話も聞けた役に立つというより学校生活がおもしろくなった。
- ・ 積極的に話しかける。授業内でのグループ活動や総合人間科などが役立った。
- ・ 林間学校でのグループ活動で附属意外の子と仲良く慣れた。合同の部屋での活動
- ・ 溶け込めていると思うけど、溶け込むことが大事であるというわけではないと思う。溶け込めていない子も、その子の性格だからと考えると受け入れていけば、自然とうまく生活できると思う。
- ・ 附中の生徒が心を開いて新しい友達に接したことで、すぐにみんな溶け込めた。私は溶け込みやすい環境作りにまわった。初めて座る席が出席番号というのとはとてもよい。
- ・ 外の世界を感じることができた。良い影響ばかりではないが、物事を客観的にみれる気がする。

- ・ 積極的に話しかけることが一番大事だと思います。また、隣同士の自己紹介なども、その後、話しかけるときの話題提供になります。

- ・ 溶け込めている。特に林間学校での行事
- ・ うまく溶け込めた。最初のころの強引で面倒な自己紹介が役にたったのでは。

- ・ 中3でやったマイノリティ体験はよかった。でもあまり意識しなくてもいいと思う。
- ・ 学校の人数が多くないので、それがよかったと思う。

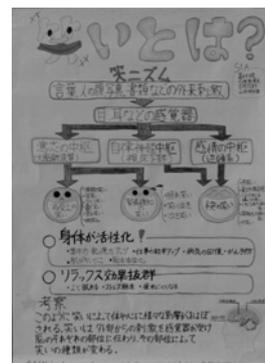
※)

- ・ うまくとけ込んだと言うより。あまり関わらないようにしてきた。その方が楽し、いざこざがないから。
- ・ 中学と雰囲気、がらっと変わったように感じるので、多少居にくさはある。でもまあ新しい人間が入ってくることは雰囲気がかわってもしようがないかなあという感じ。どうしようもない。
- ・ 溶け込むとか、溶け込まないとかあまり神経質にならない方がいい。
- ・ 自己紹介ゲームなどがいいきっかけとなったと思うが、結局はあまり意味をなしていないのかも。

4. ポスターセッション

本校で行ったSSH研究発表会の中で高校1年生はポスターセッションを行った。これは、1年間生徒が個人で研究してきた内容を、似たような研究テーマをもつ他の生徒と組みになり、研究内容をお互いにシェアし、ポスターにまとめ、発表しようというものである。

ポスターの例)





5. 職業体験

この企画も今年度初めの試みであった。目的は次の①～③にあげるものである。

- ①現実の職業に向き合い、やりがいや厳しさを体感させ、自分の興味・関心や能力・適性など自己理解を促進させ、自分の生き方についてより具体的にしていこうとする気持ちを高める。
 - ②職業体験を通して、社会が様々な職業で支え合っているしくみを知る機会とし、健全な勤労観・職業観を養わせ、将来職業生活に入った際、社会構成員の一人として自分の仕事に誇りを持って生きようとする素地を培う。
 - ③職業人との出会いを通して、人間関係の大切さを実感させ、マナーや言葉遣いなどの社会で生きるための実践的なコミュニケーション能力を向上させる。
- 職業体験を実施させていただく場所を始めは名古屋大学内の施設を対象としていたが、120名の生徒全員を名古屋大学内の施設に分散させることは、受け入れ側のキャパシティもあり、困難であったため、名古屋大学内の施設をできるだけ多く取り入れ、後は地域においてお願いして受け入れていただく運びとなった。



受け入れ先一覧)

名古屋大学の施設

どんぐり保育園 ファミリーマート 中央図書館
教育学部図書館 国際開発図書室
生命農学図書館 学内喫茶 ホワイトベアー
留学生ビレッジ 職員食堂

名古屋大学以外の施設

千種図書館 南山大学図書館 本山ボール
松坂屋ストア 熊沢医院
ホンダcars愛知南千種店
内山保育園動物愛護センター サークルK鏡が池
千種区社会福祉協議会 劇団うりんこ
名古屋スポーツセンター 千種スポーツセンター
日本ガイシアリーナ 邦和スポーツランドリンク
邦和スポーツランドプール ゴルフパートナー

※職場体験活動を通じての感想

- ・掃除など人と接しない仕事はまだ楽だったが、受付など人と接する仕事においては気配りが大変で、精神的に疲れた。まだ自分は高校生だからよくわからないけれど、社会に出たらこれより大変な事がまっているのだろうから心の準備をしておく必要を感じた。
- ・小売店ではいつも客を第1に気を抜けない状況が続いて疲れた。店内だけでなく、店外の掃除も重要だと教わった。大人から教わるということはF Wと同じだが、知識を学ぶのではなく、考え方や心得を学ぶところが違う。
- ・初めての職場体験で緊張しましたが、職場の人たちがとてもフレンドリーに優しく接してくれたので、楽しくお仕事をお手伝いさせていただきました。総合人間科ではお話を聞くだけの受身的な姿勢になってしまい

がちですが、職業体験では自分から手伝えることを探していくという積極的な姿勢が必要であると感じました。今回の経験は私の将来について考えるとても意義のある授業でした。

- ・今回の体験はFWと違ってただお話を聞くだけではなく、自分からなにかをしなければならないので、少し緊張しました。教えてくださった人への感謝はもちろん通りすがった人たちへのあいさつ、礼儀をたいせつにしなければならず、気を引き締めました。教えてくださった人たちはとても丁寧に親切に教えてくれて、作業がとてもやりやかったです。最期にはリンクをすべらせてもらって楽しかったです。
- ・今回このように職場体験の活動をして、FWとは全然違うなと思った。FWは仕事の大変さはわかっても実際に仕事をやらせてもらおうと、それ以上の大変さがわかった。しかも私たちは1日で簡単な仕事しかやってなかったが、働いている人たちは毎日もっとたくさんの仕事をしている。仕事は本当に自分の好きな職業、事柄でないと続けていくのが苦だと思わされた。このような体験ができてよかった。とても楽しかった。
- ・職場体験は事前に思っていたよりも大変で、忙しかったが面白かった。社会人というか働くということはあまり考えたことがなかったので、良い刺激になった。FWとは違い、「研究」を気にしなくても良かったので取り組みやすかった。候補地のもっとバリエーションがあつたよと思った。
- ・職場体験活動を通じて、今まではお客さんの立場ばかりだったが、今回初めて、店員という立場に立ってみて違う視点でみることができた。そして見た目によらずやさしいお客さんがたくさんいて、中には「がんばってね」と声をかけてくれるお客さんもいてとても嬉しかった。また、私たちにレジの打ち方やフライの袋への入れ方、品出しの方法などを教えてくださったオーナーさんや店員さんもとても優しく、常に人への優しさに触れることができた。とてもいい経験になった。
- ・職場体験とはその名の通り、“体験”するもので。FWではお客さんとして扱ってもらったが、働く人と同じ状況におかせてもらったことで、今までのイメージとは全く違う仕事の感覚を実感できた。何よりも座る機会があまりなくて「仕事をするのって大変だなあ」と足の疲れとともに学ぶことができた。

6. 成果と課題

- ・1年時に取り組む「生命と環境」の研究テーマは、生徒にとって、科学に対する興味・関心を高める良い機会となった。個人テーマとして高度な科学技術や医療、人口増加、地球規模で変動する環境破壊やエネルギー問題など、科学に関する現代社会の問題に焦点を

当てたものが多く見られた。21世紀に生きる生徒たちにとって、差し迫った問題であり、科学が果たす役割が今後さらに重要性を増していくと実感している生徒が多くいると思われる。秋に実施したフィールドワークでは、個人テーマの調査に出かけ、名古屋大学をはじめ専門的・先進的な研究に触れる機会となった。高校1年生にとっては、授業では扱わない高度な事前学習を要するが、科学に関する知的好奇心を刺激するには十分な効果があった。今年は、新しい試みとして、ポスターセッションを予定している。個人研究では不足しがちな「他と関わり深める」取り組みを重視して、積極的に他の考えを共有したり、自分の考えをより明確に発信したりする力を身につけさせた。

- ・併設型中高一貫教育学校である本校は、附属中学出身生徒（内進生）と公立中学校出身生徒（外進生）との融合が上手くいくかが課題である。現高校1年に対して、内進生については中学3年の後半より、新しい生徒を受け入れるためのワークに取り組んできた。外進生についても、入学前に、集団に溶け込むワークを実施した。人間関係づくりが始まる4月以降は、総合人間科の集団活動の中に融合を意図したワークを取り入れた。ワークの内容は、自己存在感を味わわせ、他の考えを受け入れ、認め合う場になるように心掛けた。融合を意図したワークが有効であったか不明であるが、現段階において人間関係に起因した不登校やいじめ合いといった表だった問題は起こっていない。ワークを通して、自分の意見をまとめて発信する機会が増え、自分の存在を認められたり、確かめたりすることにつながり、人間関係作りが比較的スムーズにいったと思われる。また、外進生が、附属学校の環境や文化に慣れるまでの心細さ、気後れといった不安を解消することができた。

- ・「生命と環境」をテーマとした総合人間科の取り組みは、キャリア教育を進めていくには良い成果を上げている。高校1年生の進路を具体的に考えていく前段階として、大学での研究活動の一端を知り、自分の興味・関心を明らかにする良い機会となった。自分の生き方について考えることは漠然とした段階であるが、11月に行われた次年度の教科選択を見る限り、総合人間科を通して目標を持って進路選択に向かおうとする姿勢は徐々に身につけてきている。しかし、「生命と環境」のテーマ自体が理系志向の生徒を増やす傾向をもたらし、生徒自身が理系教科に対する能力や適性があるのかの判断を鈍らせないかという心配は残った。本校生徒の大部分は、進学を考えており、進学先で何を学ぶかという情報には比較的関心は高くなっている。しかし、現実の職業に向き合いやりがいや厳しさを体感する経験はほとんどない。今年度最後に実施する職業体験を通して、働く意味について深く考え、社会が様々

な職業で支え合っているしくみを知る機会とした。そして生徒が学校を卒業し職業社会へ進んだ際に、社会構成員の一人として自分の仕事に誇りをもって生きようとする姿勢が身につくことを期待した。総合人間科で学んだり、体験したりすることをキャリア教育のマイルストーンとしていかに学校教育の中にくみ入れていくかが今後の課題である。 (文責：三小田博昭)